

建設 DX における「トンネル点検支援技術、斜面防災・減災」の取り組み

- 【トンネル点検支援技術の高度化に関する研究】
- 【ICRT 技術を活用した高精度かつ効率的な斜面・法面点検技術の開発】

新都市社会技術融合創造研究会

研究成果報告会のご案内

◇主催：新都市社会技術融合創造研究会

「トンネル点検支援技術の高度化に関する研究」「ICRT 技術を活用した高精度かつ効率的な斜面・法面点検技術の開発」プロジェクトチーム

◇日時：令和3年12月6日(月)13:00~17:00

◇会場：エル・おおさか 南館5F みなみホール

〒540-0031 大阪市中央区北浜東3-14

・地下鉄谷町線・京阪電鉄「天満橋駅」より西へ300m

・地下鉄堺筋線・京阪電鉄「北浜駅」より東へ500m

◇会場参加：定員100名

参加費：無料

※新型コロナウイルスへの配慮から、会場参加人数を限らせて頂いております。また、今後の感染対策の変化により、定員を見直す場合があります。

◇Web参加：定員200名

参加料：無料

※Web参加の場合は、受講証明書の発行が出来かねますので、CPDSユニットの登録は出来ません。ご了承下さい。



出典：地理院地図

◇プログラム：

新都市社会技術融合創造研究会 研究成果報告会

建設DXにおける「トンネル点検支援技術、斜面防災・減災」の取り組み

13:00~13:05	開会		
13:05~13:10	開会の挨拶：新都市社会技術融合創造研究会委員長	京都大学名誉教授	大西 有三
13:10~15:05	「トンネル点検支援技術の高度化に関する研究」 “建設DX時代にふさわしいトンネル支援技術の活用方法について”		
13:10~13:25	研究概要(本研究成果の要約)：プロジェクトリーダー	日本工業大学 基幹工学部 機械工学科	石川 貴一郎
13:25~13:45	実トンネルにおける点検支援技術の検証	パシフィックコンサルタンツ(株)	重田 佳幸
13:45~14:00	点検支援へのAIの活用	(株)ニュージェック	中園 康平
14:00~14:20	支援技術を活用した状態の把握と診断	(株)オリエンタルコンサルタンツ	井上 彰
14:20~14:35	運用マニュアルの提案	(株)建設技術研究所	野村 貢
14:35~14:50	支援技術活用の効果と今後の展望	パシフィックコンサルタンツ(株)	安田 亨
14:50~15:05	質疑応答		
15:05~15:15	休憩		
15:15~17:00	「ICRT技術を活用した高精度かつ効率的な斜面・法面点検技術の開発」 “建設DX時代における道路斜面防災・減災の在り方を考える”		
15:15~15:25	建設DX時代の斜面防災・減災とは：プロジェクトリーダー	岡山大学大学院 環境生命科学研究科	西山 哲
15:25~15:45	行動のDX：ドローン技術はここまで進化している	(株)アミューズワンセルフ	富井 隆春
15:45~16:05	知識・経験のDX：人工知能(AI)は既に実用化段階	(株)J-POWER設計コンサルタント	菊地 輝行
16:05~16:20	モノのDX：3次元データの斜面防災への活かし方	ベルテクス(株)	藤本 次昭
16:25~16:50	討論会 —実際の事例を基に考察— “IoT・AI・ビッグデータ解析というDXを支える技術によって変わる斜面防災・減災とは？” 参加者：岡山大学 西山哲, 崎田晃基, 北内宏明, (株)アミューズワンセルフ 富井隆春 (株)J-POWER設計コンサルタント 菊地輝行, (株)ブロードライン 大島真幸	コーディネーター：大西 有三	
16:50~16:55	閉会の挨拶	近畿地方整備局 道路部 道路保全企画官	大坪 裕
16:55~17:00	閉会		

【ご注意】会場参加の方でCPDS受講証明書を希望される方は、13時00分までに受け付けを済ませ、全てのプログラムを受講して下さい。受講証明書は閉会後に受付にて発行致します。

◇申込みの際しての注意事項

※プログラムの内容は一部変更する場合がございます。

※当日の資料配付は行いませんので、下記URLの「新着情報」より資料の掲載ページへアクセスし、ダウンロードのうえ資料をご持参下さい。（資料は11月22日より順次掲載いたします）

<http://www.kkr.mlit.go.jp/road/shintoshikenkyukai/index.html>

※申込方法：参加ご希望の方は、申込代表者の氏名、所属・役職、緊急時連絡先(TEL)をご記入のうえ、「会場参加」又は「Web参加」の希望者別に、下表に必要事項をご記入のうえ、下記の「申込先：E-mailアドレス」へメールにてご送付下さい。奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。（申込書ファイルは上記URLからダウンロードできます）

※申込先：国土交通省 近畿地方整備局 新都市社会技術融合創造研究会事務局（近畿技術事務所内）

〈E-mail〉 kkrls-gijyu02@mlit.go.jp

※申込期限：令和3年11月25日(木)17:00（定員になり次第、締め切らせていただきます）

※CPDS：本研究成果報告会は、「会場参加」の方に限り（一社）全国土木施工管理技士会連合会）の継続学習制度（CPDS：4ユニット）認定の対象となります。

参加申込欄

申込代表者： _____ 所属・役職： _____ 緊急時連絡先(TEL)： _____

【会場参加の方】

	参加者氏名（ふりがな）	所属	役職	CPDS受講の有無 (会場参加の場合のみ)	備考
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

【Web参加の方】

	参加者氏名（ふりがな）	所属	役職	E-mail (web招待先アドレスを記載)	備考
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					